

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月26日	
下関市長 殿	
提出者 住 所 山口県下関市長府扇町10番52号 氏 名 長府バイオパワー合同会社 代表社員 一般社団法人CITRUS 職務執行者 平野 和俊 電話番号 083-227-4699	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	長府バイオパワー合同会社 長府バイオマス発電所
事業場の所在地	山口県下関市長府扇町10番52号
計画期間	令和7年(2025年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	電気業
② 事業の規模	出力74,950kWのバイオマス発電所
③ 従業員数	5人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>産業廃棄物発生工程フロー</div> <div><div>流動材(珪砂)</div><div>燃料(木質ペレット)</div><div>回収容器 (木くず、不燃物等)</div><div>ボイラー</div><div>ペッドアッシュ (流動材ビン)</div><div>フライアッシュ (フライアッシュタンク)</div><div>発電プラントのメンテナンス・清掃等の廃棄物</div><div>回収容器 (汚泥、ガラスくず等)</div><div>処理委託業者</div></div>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
(管理体制図)							
<table border="1"><tr><td>処理計画統括責任者</td><td>処理計画作成・対応</td></tr><tr><td>発電所長</td><td>発電所員（担当者）</td></tr></table>		処理計画統括責任者	処理計画作成・対応	発電所長	発電所員（担当者）		
処理計画統括責任者	処理計画作成・対応						
発電所長	発電所員（担当者）						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙1-1のとおり						
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量	t	t				
	(これまでに実施した取組)						
② 計画	【目標】 別紙1-1のとおり						
	産業廃棄物の種類						
	排 出 量	t	t				
	(今後実施する予定の取組)						
産業廃棄物の分別に関する事項							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 処分先の受入基準に適合するように発生する産業廃棄物の種類、性状及び荷姿毎に分別を実施。						
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 運転時以外でも今年度から始まる定期点検時の廃棄物について、産業廃棄物の種類、性状及び荷姿毎に分別を実施する。						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙1-1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 試運転、営業運転開始年度で、発生する産業廃棄物の種類、性状と処分会社の受入基準を踏まえ委託により処分実施。		

②計画	【目標】 別紙1-1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今年度から始まる定期点検時の廃棄物を含め、発生する産業廃棄物の種類、性状と処分会社の受入基準を踏まえ処分会社へ委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書（令和7年度計画）

別紙1－1

多量排出事業者 名 称	長府バイオパワー合同会社 長府バイオマス発電所	所在地（市町名）	下関市	事業の種類	電気業
-------------	-------------------------	----------	-----	-------	-----

(単位：トン)																					
区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻	2,389	6,150									2,389	6,150			2,378	6,100	11	50		
	汚泥	25	100									25	100	1	50	24	50				
	廃油	0	5									0	5								
	廃酸	0										0									
	廃アルカリ	0										0									
	廃プラスチック類	0	1									0	1								
	紙くず	0										0									
	木くず	37	100									37	100	37	100						
	繊維くず	0										0									
	動植物性残さ	0										0									
	動物系固形不要物	0										0									
	ゴムくず	0										0									
	金属くず	0										0									
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	0	1									0	1								
	鉱さい	0										0									
	がれき類	2	10									2	10								
	動物のふん尿	0										0									
	動物の死体	0										0									
	ばいじん	1,590	6,000									1,590	6,000			78	2,000				
	13号廃棄物	0										0									
計 (A)		4,043	12,367	0	0	0	0	0	0	0	0	4,043	12,367	38	150	2,480	8,150	11	50	0	0